

みんなで支えてみんなでつくる鮎河の未来

あいが 羽ばたけ鮎河自治振興会

土山地域の鮎河学区は、鈴鹿山系の麓にあり、豊かな自然に恵まれた深山に広がるまちです。

鮎河学区では、5月28日に自治振興会が設立され、以降、地域の方が参画された様々な活動を展開されています。

市内でも同学区は、特に少子高齢化が進んでいる地域で、以前からも、さくら祭りなど、地域のつながりを大切にされた活動を展開されていますが、今回の自治振興会の設立でも新たな地域づくりへの期待が膨らんでいます。

一人ひとりの顔が見える活動、鮎河学区の特性を活かした活動に夢が広がります。

自治振興会は、11月15日現在、市の提案23地区の内、20地区で設立されています

羽ばたけ鮎河自治振興会 久保重衛会長に聞きました



自治振興会設立に至った経過やご苦労されたことをお聞かせください

鮎河学区では少子高齢化が進み、福祉・子育て・防災・防犯など生活に密着した公共サービスについて、行政の一律・公平な現在の施策では対応しきれなくなってきました。

このような現状では、各区や団体が持つ強みを活かし、弱みを補い合い、鮎河学区全体でお互いを思い、支え、助け合い、住み続けたい、住んでみたいと思える地域づくりが必要であるとして、区長会が中心となり平成22年10月2日に設立準備委員会を立ち上げました。

設立準備委員会では、学区内の課題を出し合うワークショップや先進地研修を行いました。また、住民の皆さま

んに自治振興会に関心をもってもらうため名称募集も行ないました。33作品の応募があり、鮎河の未来を明るくするイメージを連想させる「羽ばたけ鮎河自治振興会」に決定しました。

6回の準備委員会を経て今年5月28日に設立総会を開催、自治振興会をスタートさせました。



すでに事業も実施されているということですが

当自治振興会では、学区の解決すべき課題別に4つの専門部会を設け活動を展開しています。既に学童保育に対する保護者のニーズアンケートの実施、敬老会の開催、健康機器等の整備を行いました。また、自主防災隊の備品を購入し、地域の安心安全の拡充を図りました。

今後は、11月20日に大河原において開催されるもみじまつりへ紅葉の林道を歩いて参加する学区民ウォーキング、11月27日には防災訓練の実施を予定しており、自治振興会の活動もこれから本格化していきます。

羽ばたけ鮎河自治振興会のPRをどうぞ

うぐい川の桜、鈴鹿国定公園の紅葉など、美しい自然景観を有していますが、空き家が目立つようになり、周辺環境への影響も出てきているため、その活用を含め、現在、議論しています。今後は、持ち主の意向等についてアンケートを実施し、有効となる空き家対策を検討していきます。また、春の観光イベントとして定着している「咲くや鮎河さくらまつり」の運営体制等について抜本的な見直しを行い、より一層、盛んなイベントとなるよう取り組みます。さらに、鮎河菜などの地域の特産品を活かしたまちづくりも進めていきたいと思えます。みなさんのご支援とご指導をお願いします。

問い合わせ 地域コミュニティ推進室 ☎65-0687 ☎63-4554



めざせ そば名人

子どもたちがそば打ち体験

甲南第三地域市民センター

10月27日、甲南第三小学校の1、2年生の子どもたちがそば打ちに挑戦しました。講師を務めていただいた下馬杉の若田さん宅で、体験の10日前にそばのお話を聞き、実際に使う道具を見せてもらいながら作業工程(おそばのレシピ)を勉強して当日を迎えました。

そばは「挽きたて」「打ちたて」「茹でたて」の三たてがおいしくいただくための条件とのこと。子どもたちには、ちよっぴり大きめのそば打ち道具でしたが、体いっぱい使って全力で取り組む姿に、地域の明るい未来を感じました。



地域に伝わる「灯し」

大野地域市民センター

土山町今宿区で受け継がれている灯し

この灯しは、「火の用心」を呼びかけ、毎晩隣から隣へと順番

に回します。回ってきた家では、中のろうそくに火を灯して、玄関先に出しておきます。

正面の和紙には、「町内安全」「愛宕社」「奉納」と書かれてあります。

この習慣はいつから始まったか分からないそうですが、地域の方に伺うと少なくとも80年以上続いているようです。

修復が重ねられた跡や、障子紙が破れそうになると誰かが気付き、毎晩きれいな状態で回ってくるという話からも、地域で大切に守り継がれている様子がうかがえます。

新名所

「多羅尾御斎の杜」

多羅尾地域市民センター

昨年、多羅尾の御斎峠に県民



参加の里山づくり事業で「多羅尾御斎の杜」ができました。ここからは伊賀盆地、遠くは青山高原や曾爾高原の山々まで一望できます。最近朝夕の冷え込みで木々も色鮮やかに、陽気のいい日には展望台で景色をおかずに弁当を広げゆったりとした時間をすごされている方を見かけるようになりまし。

近くには、弘法の井戸や仕置場、徳川家康伊賀越の道などもあり多羅尾の歴史をひも解いてみてはいかがでしょうか。

地域の絆を深める

伴谷地区体育大会

伴谷地域市民センター



10月16日に「ぼんたに自治振興会」が主催する第1回目の大会を記念し、開会式では城山中学

校の吹奏楽部の皆さんに演奏をしていただきました。生の演奏で入場行進をされた区民の皆さんも、一様に感動されました。また、前日からグラウンドに溜まった雨水の吸い取りを、演奏に来ていただいた生徒さんにも手伝っていただき、無事開会することができました。

秋空のもと競技に、応援に多くの笑顔と歓声があふれる一日となり、来年も大会を続けていきたいとの宣言もされました。

総合優勝は下山区、準優勝は第四水口台区、3位は桜ヶ丘区でした。

関西文化の日

「関西文化の日」とは、関西の文化をもっと知っていただくために、関西一円の文化施設で、11月の一定期間の入館料を無料でご利用いただく日を設定したものです。福井・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・鳥取の2府8件の約450施設が参加しており、甲賀市内では下記の5館が参加しています。

■期日/11月19日(土)・20日(日)

■内容/下記各館の入館料が無料

(*印は通常も入館無料)

●水口歴史民俗資料館

ロビー展「甲賀のモノと暮らし②」モノを入れる木の道具―開催中

☎62-7141/☎63-4737

●水口城資料館

☎63-5577

●土山歴史民俗資料館*

企画展「おばあちゃんの日

〜ちよっつと昔の暮らし〜開催中

☎69-1056/☎96-1067

●東海道伝馬館*

☎66-2770

●甲南ふれあいの館*

企画展「甲賀の渥田農耕

―ひび割れた大地に生きる―開催中

☎86-7551

*関西文化の日について、詳しくは「関西文化の日」ホームページ(https://www.kansai-bunka.com/)をご覧ください。